

第5・6年 複式国語科学習指導案

日 時 平成16年9月29日(水)5校時
 場 所 浮島小学校5・6年教室
 児 童 5年 男1名 女3名 計4名
 6年 男4名 女2名 計6名
 指 導 者 菅原 康秀
 サポート 四日市 則江

1 単元名

5年 二 地球環境について考えよう	6年 二 言葉と文化について考えよう
-------------------	--------------------

2 教材名

5年 一秒が一年をこわす ホタルのすむ水辺 「子ども環境会議」を開こう	6年 外来語と日本文化 現代を生きる五音、七音 「言葉と文化」展示館へ、ようこそ
---	--

3 単元について

第5、6学年の「読むこと」に関連する目標は、「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」である。本単元では、第3・4学年での「中心」を押さえる学習を受け、書かれている内容を的確に読みとることを通して要旨を把握する力をのばしたい。また、文章表現における事実と感想の述べ方の違いに気づかせ、筆者がどのような事実に基づいて論をすすめているかをとらえさせ、その考えを理解させながら読み深めさせたい。さらに筆者の考えをとらえさせるだけにとどまらず、筆者の事実裏打ちされた主張に対する自分の意見を持てるよう、主体的に読ませ、課題をもたせたい。また、自分の課題については関連教材や資料を調べ考えを深めさせたい。

<p>本単元の教材「一秒が一年をこわす」は、人類の未来に対して明るい展望を描いている子どもたちにとって、衝撃的な内容である。題の意味は、初読では、つかみにくいと思われるが、読み進むにつれて意味が判明し、そのメッセージの重大性が明らかとなってくる。</p> <p>子どもたちにとっては、人類の未来の存続に関わる問題を考えるという主体的な読みを喚起する教材である。この教材は、科学技術の発展と地球環境の悪化との関係を4つの事例をもとに明快に提示する部分・地球の誕生と人類の誕生についての部分・人類のおごりがその未来に及ぼす影響についての3つの部分から構成されており、段落相互の関係も明確で、要旨をとらえやすくなっている。しかし、要旨の示唆するメッセージの重大性に対し、文章はむしろ淡々とした感がある。事実を明確な数量によって押さえながら、確かな説得力をもつ教材である。</p> <p>本校児童5年生は、1学期に「海にねむる未来」を学習しており、具体的な事例や資料を示すことにより、話が説得力を持つことを学習してきた。それにより、事実と筆者の考えを区別してとらえることができるようになってきている。</p> <p>そこで、本教材では要旨を支えている確かな事例を読み取ることを通して、筆者の考えをとらえさせたい。さらに、自分の課題を見つけさせたい。</p>	<p>本単元の教材「外来語と日本文化」の内容は、室町時代や江戸時代に入ってきた外来語が話題の中心である。「外国の言葉」というよりも、「日本語」としての認識の方がより強いであろう事例を、改めて「外来語」としてとらえることは、子どもたちにとって驚きであり「言葉」への興味を喚起する教材である。この教材は、「はじめ・なか・おわり」が明確であり、基本的な段落構成の学習に適している。また、課題に対して歴史にしっかりと裏打ちされた事例を取り上げ、明確に課題を解明している。</p> <p>本校児童6年生は、1学期に「火星に生命をさぐる」、5年「一秒が一年をこわす」「ホタルの住む水辺」で科学を内容とする説明文を読んできた。それにより、現在の地球環境がかかえる問題や人々の努力を、事実や筆者の主張や考えをとらえ、要旨としてまとめる力をつけてきた。本教材は説明文であるが、内容は文化に関するものである。また、もうすっかり日本語化して生活の中に定着している語を取り上げているために、子どもたちに理解しやすい形になっている。</p> <p>そこで、筆者が文章構成や表現に関して工夫を加えていることをとらえさせ、その内容の歴史的な背景を豊かに読み取らせ、自分の意見を持たせたい。また、要旨をとらえさせ内容を読み取らせるとともに自分の考えを引き出したい。</p>
--	--

4 単元指導計画と評価規準

5 学年 地球環境について考えよう	学習時数	1 6 時間
-------------------	------	--------

(1) 目標

地球環境について考えながら、文章を読んで要旨をとらえ、自分の課題を持つ。 課題について調べたことを整理して資料を作り「子ども環境会議」を開いて、考えを深める。
--

(2) 指導計画と評価規準

次	時	学 習 活 動	評価規準	具体の評価規準		
				A	B	Cへの支援
1	1	リード文を読み、学習の目標を立てる。	学習の全体目標を立てている。(発言・ノート)	学習全体を見通して、全体目標を立てている。	リード文を押さえながら、学習の全体目標を立てている。	リード文内のキーワードを押さえさせ、学習目標を考えさせる。
	2・3	本文を通読し、課題を作る	段落分けをし、課題を作っている。(発言・ノート)	段落ごとの概要を考えながら、課題を作っている。	キーワードを押さえながら、課題を作っている。	段落ごとのキーワードを押さえさせ、課題を考えさせる。
2	4	～の要点をまとめ、科学技術の発達と地球環境の悪化について読み取る。	文章の内容を押さえながら、要旨をとらえている。(発言・ノート)	形式段落相互の関係を考えながら、科学技術の発達と地球環境の悪化について読み取り、要点をまとめ自分の意見を持っている。	キーワードをもとに、科学技術の発達と地球環境の悪化について読み取り、要点をまとめている。	事例と筆者の意見を見つけさせ、科学技術の発達と地球環境の悪化について読み取らせる。
	5	～の要点をまとめ、地球と人類の誕生について読み取る。		形式段落相互の関係を考えながら、地球と人類の誕生について読み取り、要点をまとめ自分の意見を持つ。	キーワードをもとに、人類のおごり来への影響について読み取り要旨をまとめている。	事例と筆者の意見を見つけさせ、地球と人類の誕生について読み取らせる。
	6	～の要点をまとめ、人類のおごりが引き起こす未来への影響について読み取る。 本時		形式段落相互の関係を考えながら、人類のおごりが引き起こす未来への影響について読み取り、要点をまとめ、自分の意見を持つ。	キーワードをもとに、人類のおごり来への影響について読み取り要旨をまとめている。	事例と筆者の意見を見つけさせ、人類のおごりが引き起こす未来への影響について読み取らせる。
3	7	「一年が一秒をこわす」の要旨をまとめる。	段落相互の関係を考えながら、要旨をとらえている。(ノート)	筆者の主張を押さえながら、要旨をまとめ、自分の課題を明確にしている。	段落相互の関係を押さえながら、要旨をまとめ、筆者の主張について考えている。	今まで読み取ってきたことをもとに、キーワードを押さえながら、要旨をまとめる。
1	8	「ホタルのすむ水辺」の本文を通読し、内容の大体をとらえる。	課題提示文に対する解決文を予想する。(発言・ノート)	課題提示文に対する解決文を見つけている。	課題提示文に対する解決文を予想している。	課題提示文を見つけさせ、解決分を予想させる。
2	9	事例と筆者の考えとの関係を押さえて読み、自分の考えを持つ。	事例と筆者の考えとの関係を押さえて読み、自分の考えを持っている。(発言・ノート)	全文の内容を読み深め、自分の考えを持っている。	事例と筆者の考えとの関係を押さえ、自分の考えを持っている。	事例と筆者の考えを文末表現からとらえさせる。
3	10	学習のまとめをする。	「一秒が一年をこわす」「ホタルのすむ水辺」の事例を通して筆者が訴えたいことを短くまとめている。(ノート)	要旨をまとめ、自分の考えもまとめている。	要旨をまとめ、自分の考えを持っている。	これまでの学習を振り返らせ、要旨をまとめさせる。
1	11	環境について、自分の課題をもって調べる。	環境会議にむかって、課題と調べ方ははっきりさせている。(カード)	資料を活用し、課題と調べ方ははっきりさせている。	課題と調べ方を既習事項からはっきりさせている。	既習事項から課題と調べ方を模索させる。
2	12 13 14 15	会議のための資料を作り、準備をする。	会議のための資料を適切に作っている。(資料)	説得力のある提案にするため、資料を工夫して作っている。	具体的な資料を示し、自分の考えを表現している。	自分の考えに合った資料を見つけさせる。
3	16	会議を開く。	資料を生かして分かりやすく発表している。(発表)	目的に沿って、計画に従い、主体的に話し合いを進めている。	資料を生かして分かりやすく発表している。	資料をもとに発表させる。

6 学年 言葉と文化について考えよう	学習時数 16 時間
--------------------	------------

(1) 目標

言葉と文化について関心を持ち、文章を読んで要旨をとらえ、自分の課題を持つ。 「言葉と文化」について調べたことを、表現の効果を考えてまとめる力をつける。
--

(2) 指導計画と評価規準

5 本時の指導

次	時	学 習 活 動	評価規準	具体的評価規準		
				A	B	Cへの支援
1	1	リード文を読み、学習の目標を立てる。	学習の全体目標を立てている。 (発言・ノート)	学習全体を見通して、全体目標を立てている。	リード文を押さえながら、学習の全体目標を立てている。	リード文内のキーワードを押さえさせ、学習目標を考えさせる。
	2 3	「外来語と日本文化」を通読し、課題を作る	段落分けをし、課題を作っている。 (発言・ノート)	段落ごとの概要を考えながら、課題を作っている。	キーワードを押さえながら、課題を作っている。	段落ごとのキーワードを押さえさせ、課題を考えさせる。
2	4	～の要点をまとめ、提示されている課題について読み取る。	文章の内容を押さえながら、要旨をとらえている。 (発言・ノート)	形式段落相互の関係を考えながら、「カード・カルテ・カルタ」の事例について読み取り、要点をまとめている。	キーワードをもとに、「カード・カルテ・カルタ」の事例について読み取り、要旨をまとめている。	事例を見つけさせ、提示されている課題を読み取らせる。
	5	～の要点をまとめ、外来語と文化との関係について読み取る。		形式段落相互の関係を考えながら、外来語と文化との関係について読み取り、要点をまとめている。	キーワードをもとに、外来語と文化との関係について読み取り要旨をまとめている。	事例を見つけさせ、外来語と文化との関係について読み取らせる。
	6	～の要点をまとめ、事例と筆者の考えとの関係について読み取る。 本時		今まで読み取った事例について考えながら、事例と筆者の考えとの関係について読み取り、要旨をまとめている。	キーワードをもとに、事例と筆者の考えとの関係について読み取り、要旨をまとめている。	筆者の考えを見つけさせ、その考えは、どの事例に基づいたものかを考えさせて読み取らせる。
3	7	「外来語と日本文化」全文の要旨をまとめ、要約する。	段落相互の関係を考えながら、事例と筆者の考えを要約している。 (ノート)	事例と筆者の考えとの関係を押しえながら全文を要約し、自分の課題を明確にしている。	段落相互の関係を押しえながら筆者の意図に沿って要約している。	今まで読み取ってきたことをもとに、キーワードを押さえながら、要旨をまとめる。
1	8	「現代を生きる五音・七音」を通読し、内容の大体をとらえる。	五音・七音の持つリズムの良さを理解している。 (発言・ノート)	日本語のリズムの良さを理解している。	日本語のリズムの良さに親しんでいる。	五音・七音のリズムに親しませる。
2	9	筆者の意図を理解する。	短い要約文を書いている。 (ノート)	筆者の意図がよく伝わるように要約文を書いている。	要点や要約を生かして、要約文を書いている。	キーワードを見つけさせ、要約文をできるだけ短く書かせる。
1	10	言葉と文化について、自分の課題を持って調べる。	課題や発表方法を自分で決定している。 (カード)	課題や発表方法を主体的に決めている。	課題や発表方法を決めている。	既習事項から課題や発表方法を決めさせる。
2	11 12 13 14 15	課題について調べ、展示物にまとめる。	課題を適切な方法で解決して、まとめている。(展示物)	課題を適切な方法で解決して、効果的にまとめている。	課題を適切な方法で解決して、資料を生かし、主体的にまとめている。	資料を生かしてまとめさせる。
3	16	展示について感想を交流する。	感想交流を通して、自己評価、相互評価をする。(発表・カード)	自己評価・相互評価を適切におこなっている。	自己評価・相互評価をおこなっている。	友だちの展示物から、参考になる点を見つけさせる。

5 本時の指導

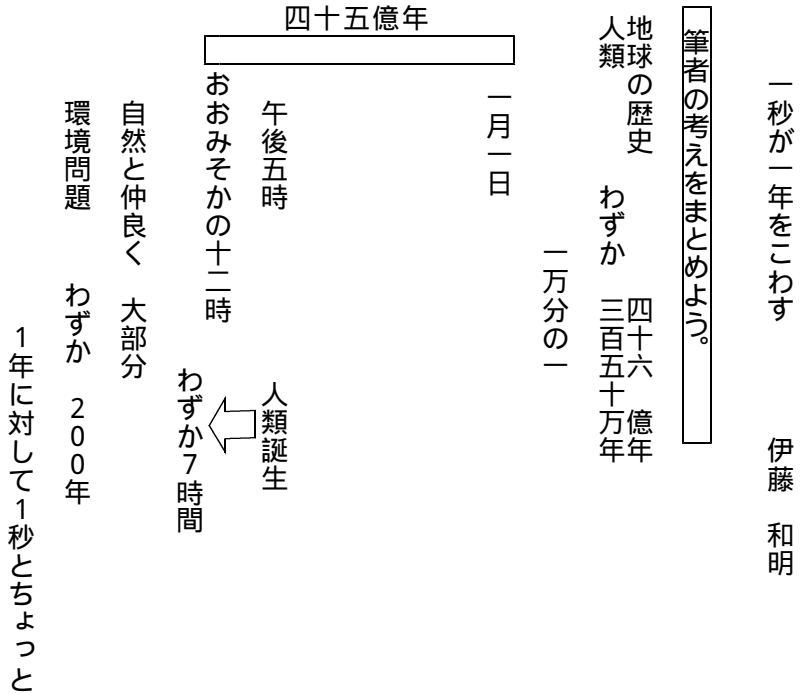
指導上の留意点 評価		学習活動	過程	過程	学習活動	指導上の留意点 評価
(1) 目標 たった一秒。 (2) 展開					(1) 目標 事例から筆者が出した結論を読み取り、要旨をまとめることができる。 (2) 展開	
<p>・前時の学習を思い出し、今日の課題を確認する。</p>	1 学習課題を確かめる。	なぜ大きなしっぺ返しをうけるのか考えよう。	う か べ る 5	う か べ る 5	1 学習課題を確かめる 外来語は、その文化の交流の現れであるといえるのか調べよう。	・前時の学習を思い出し、今日の課題を確認する。
	<p>・筆者の主張はどの部分に書かれているか、文末に気をつけさせながら、サイドラインを引かせる。 ・「一秒」「一年」「こわす」とは何を示唆しているのか叙述に即して読み取らせる。</p> <p>◎ 時間の関係を理解できたか。</p>	2 筆者の主張について読み取る。 (1) しっぺ返しをうける理由をさがす	き づ く 5	き づ く 5	2 外来語が、本来の意味と異なってしまったわけを読み取る。 (1) ・他の国の言葉を使うようになる訳にサイドラインを引き書き込みをする。	指示語及び文末に気をつけ、既習事項を使って書き込みをさせる。サポート
<p>◎ 書き込みを生かしたまとめを書かせる。</p> <p>◎ 本時の学習を生かしてまとめることができたか。</p> <p>・次時、文章をまとめる。</p>	3 筆者の主張を視写し人類のおごりが引き起こす未来への影響を考える。	し ら べ る 15	し ら べ る 15	3 重要語句を確認しながら、外来語について読み深める。 ・外来語になる条件 伝わり方 影響	「他の国との交流」、「新しい文化が入ってきた時」を接続語、指示語に気をつけながら読ませる。 ・表にまとめる	
	4 本時の学習のまとめをする。 (1) 人類のおごりに対する筆者の主張を書く。		ま と め る 10	ま と め る 10	4 本時の学習のまとめをする。 ・本時の学習から分かったこと思ったことを書く。	書き込み、サイドラインを生かして書かせる。
	5 発表する。				5 自分の文章を発表しあう。	◎ 本時の学習を生かしてまとめることができたか。 友達の良い点をさがしながら聞かせる。
	6 学習内容の交流をする。				6 学習内容の交流をする。	
	7 次時の学習内容を確かめる。		10	10	7 次時の学習内容を確かめる。	・次時は全文をまとめる。

板書計画

5年 一秒が一年をこわす

人類がこのまま活動すると、地球の環境をこわしてしまつてしまふ。

たった一秒間、地球上で活動したために、人類は地球が一年かかつて築き上げた環境を壊してしまふ。これを繰り返すと、地球上の環境が壊れていなくなる。



6学年 外来語と日本文化

外来語は、その文化の交流の現れである

カルタ アトリエ
パン カステラ
コーヒー・・・

他の国に吸収され、人類の心と暮らしを豊かにする。

いろいろな国の文化は、たがいに交流して

そのうえ、いつ・どのような交わり
そして、新しい文化が外国から入ってきたとき
(品物、習慣、制度、学問・・・)

一つの国が、他の国の言葉を使うようになるわけ
まず、その国との交わり

外来語と日本文化 渡辺 実文
筆者の考えをまとめよう。